

総務政策委員会記録

開会年月日	平成30年2月14日
開会時刻	午前9時56分
閉会時刻	午前10時22分
出席委員名	◎岡田 善行 ○上村 和生 井村 貴志
	吉井 詩子 吉岡 勝裕 黒木騎代春 世古口新吾
	西山 則夫 議長
欠席委員名	鈴木 豊司
署名者	井村 貴志 吉井 詩子
担当書記	山口 徹
審査案件	継続調査案件 ふるさと未来づくりに関する事項 ・ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）の設置について
	継続調査案件 総合計画推進事業に関する事項 ・第2次伊勢市総合計画の進捗管理について
説明者	環境生活部長、環境生活部参事、市民交流課長
	情報戦略局長、情報戦略局参事、財政課長
	危機管理部長、危機管理課長
	その他関係参与

審査経過

岡田委員長が開会を宣言し、会議録署名者に井村委員、吉井委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、継続調査案件となっている「ふるさと未来づくりに関する事項」及び「総合計画推進事業に関する事項」を審査し、引き続き調査を継続することと決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は次のとおり。

開会 午前9時56分

◎岡田善行委員長

ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は7名でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、井村委員、吉井委員の御兩名を指名いたします。

本日の案件は、継続調査となっております「ふるさと未来づくりに関する事項」及び「総合計画推進事業に関する事項」であります。

議事の進め方については、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【ふるさと未来づくりに関する事項】

【ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）の設置について】

◎岡田善行委員長

それでは、「ふるさと未来づくりに関する事項」について御審査をお願いいたします。

「ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）の設置について」、当局からの説明をお願いいたします。

市民交流課長。

●北村市民交流課長

それでは、「ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）の設置について」御説明させていただきます。

資料1をごらんください。

1の経過でございますが、以前より本格稼働から5年後のふるさと未来づくり資金については、社会情勢の変化によって平成32年度からの見直しをさせていただくこととなっております。

次に、2の内容でございますが、平成32年度からのふるさと未来づくり資金や運営のあり方を見直ししていくため、ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）を設置するものであります。

検討会は、外部の学識経験者、関係団体等の委員さんをお願いします。また、中身の資金のあり方等については、別途、まちづくり協議会の方々からも意見をいただくようにさせていただきます。

なお、検討会の設置は、伊勢市ふるさと未来づくり条例の中で規定し、来月の3月市議会定例会に条例案を提出したいと考えております。

3の今後のスケジュールでございますが、来月の3月議会に条例案を提出後、平成30年度で検討会を設置し、資金等のあり方を検討していただき、案を作成後、議会にもお示しをし、平成31年度でまちづくり協議会等の皆さんへ周知をしていきたいと考えております。

以上「ふるさと未来づくり制度検討会の設置（仮称）について」御説明申し上げました。御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎岡田善行委員長

ただいまの説明に対して、御発言はありませんか。

黒木委員。

○黒木騎代春委員

中身を見直しをしていくということはいろんな意味で必要なことであるというように思うんですけども、白紙ではないというふうに思うんですけども、関係諸団体や、あるいは検討会に出されるたたき台のようなものというのは、方向性というのとはどのようなものがあるのでしょうか。

◎岡田善行委員長

市民交流課長。

●北村市民交流課長

具体的なたたき台というのは完全にはできておりませんが、考え方としまして、今活動事業費なりが定額で100万円を各地域へお支払いをさせてもらっておる状況でございますが、そういった部分をですね、例えば規模に応じてするのかとか、そういったことを考えていかなあかんのかなというふうに考えております。

◎岡田善行委員長

黒木委員。

○黒木騎代春委員

定額というのを、一律じゃなしにそれぞれに応じてということだと思っておりますけれども、そういう可能性もあると思っておりますけれども、今地域によって、例えば自主的に財源をつくり出したりするようなところは、地域の需要とかそんなによっても、可能性がないところもあると思っておりますので、そんなところについては十分配慮のあるような内容というのが必要やと思っておりますけれども、そのことについてはどのように考えてもらっていますでしょうか。

◎岡田善行委員長
市民交流課長。

●北村市民交流課長

そういう点も含めて、外部の委員さんからも意見をお伺いしながら、案をつくっていききたいというふうに考えております。

○黒木騎代春委員

ありがとうございます。

◎岡田善行委員長

ほかにありませんか。

吉井委員。

○吉井詩子委員

今の御答弁で、ほかの外部の方からも意見をいただいていることなんですけれども、最初の説明いただいたときに、私の聞き間違いであったら申しわけないんですけれども、資金のことについて見直していく。別途、中身についてはまちづくり協議会の方からと、最初の御説明あったんですけれども、今の御答弁では、中身についてもほかの団体からもというふうにお聞きしたんですけれども、その整理というか、どういうふうに、もう一回教えてください。

◎岡田善行委員長

市民交流課長。

●北村市民交流課長

検討会につきましては、外部の委員さんでお願いをするわけでございますけれども、その間にまちづくり協議会の方々にも御意見をいただくと。そういうことも踏まえて検討会の中でも考えていただいて、作成をしていきたいというふうに考えております。

◎岡田善行委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

要は、内容についても検討会でしていくということですね。

そうすると、この関係団体というのは、今考えておられるのは、どういう団体の方がいらっしゃるんですか。

◎岡田善行委員長

市民交流課長。

●北村市民交流課長

関係団体でいきますと、社会福祉協議会さん、それから、いせ活動センターさん、それから伊勢商工会議所等を考えております。

◎岡田善行委員長

吉井委員。

○吉井詩子委員

わかりました。今社協さんなど福祉の関係のほうでも、地域へということではいろんなことを進めてもらっているということで、その辺のことを話し合ってもらおうということで理解をしたいと思います。またよろしく願いいたします。ありがとうございます。

◎岡田善行委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。
続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、「ふるさと未来づくり制度検討会（仮称）の設置について」を終わります。

ふるさと未来づくりに関する事項につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。本件につきましては、引き続き調査を継続いたします。

【総合計画推進事業に関する事項】

〔第2次伊勢市総合計画の進捗管理について〕

◎岡田善行委員長

次に、「総合計画推進事業に関する事項」についての御審査をお願いします。

「第2次伊勢市総合計画の進捗管理について」、当局からの説明をお願いします。

情報戦略局参事。

●辻情報戦略局参事

それでは、御説明を申し上げます。

これは、第2次伊勢市総合計画の平成28年度の事業結果等に係る各所属による自己評価結果を御説明申し上げるものです。

資料 2-1 をごらんください。

後ほど御説明を申し上げます基本計画の各章に係る内容につきましては、本総務政策委員会の所管は記載のとおり、「第 1 章市民自治・市民交流」、「第 5 章防災・防犯・消防」、それから「第 8 章市役所運営」でございます。

恐れ入ります。資料 2-2 をごらんください。

総合計画の進行管理の目的は、1 に記載のとおり、市政を取り巻く社会的状況等の変化、また、それから考えられる課題、そして数値目標の達成状況を確認し、その結果を踏まえて、平成30年度の予算編成及び次期第 3 次総合計画につなげ、効果的な行政運営を進めるものでございます。

「2 構成及び確認の考え方」でございますが、(1) に基本計画の序章に係る確認につきましては、平成26年の策定時からの現況及び課題の変化を確認して、全般的に考慮すべき事項等を追記し、また、(2) 基本計画の各章に係る確認につきましては、各節、つまり施策単位で設定しております測定指標の達成状況と、今後の取り組みの方向性及びその根拠、考え方を整理いたしております。

まず、基本計画の序章に係る確認につきまして、御説明を申し上げますので、恐れ入りますが 9 ページをごらんください。

これは「伊勢市の課題」の一つ、「超高齢社会に対応したまちづくり」に関しまして、平成29年 4 月から介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、地域の多様な主体を活用し、地域の支え合いによる地域づくりが求められていることから、地域の支え合いの体制づくり、地域内コミュニティの活動促進、健康づくり・介護予防の促進等を進め、高齢者が自分らしく暮らし続けられることができる生活圏を構築することが重要であるとしております。

恐れ入りますが、11ページをお開き願います。

同じく、こちらには「伊勢市の課題」の一つ「大災害への備え」を記載しておりますけれども、こちらに関しましては鬼怒川の氾濫を機に、宮川、勢田川の氾濫ハザードマップの見直しがあり、その対策が必要であるとの認識を追記しております。

次に、「基本計画の各章に係る確認」について御説明申し上げますので、恐れ入りますが、13ページをごらん願います。

これは、測定指標の達成度に係る担当課による自己評価結果の一覧表でございます。

目標達成度については、A から C の 3 段階としておりまして、各施策の目標値に対しまして A が「既に目標値達成」、B が「目標達成が可能」、C が「目標達成が困難」な状況となっております。

総務政策委員会所管の「第 1 章市民自治・市民交流」では、6 つの数値目標中 4 つが、「第 5 章防災・防犯・消防」では13の指標中 8 つが、また「第 8 章市役所運営」では、5 つの指標中 1 つが目標達成が困難な C 評価となっております。

具体的には、第 1 章では、15ページをお開きいただけますでしょうか。15ページの第 1 節地域コミュニティの「自治会加入率」、それから、次の16ページをお願いいたします。16ページの第 2 節市民参画・市民活動の「いせ市民活動センターへの登録団体数」、それから、1 ページ飛びまして18ページの第 4 節国際交流・男女共同参画の「市の審議会、委員会などへの女性の登用率」及び「伊勢市国際交流協会の会員数」が、また、飛びますが

第5章、31ページをお開き願います。31ページの第1節防災・減災の「非常持出品や災害備蓄の準備をしている世帯」、「避難場所を知っている人」、「災害時に避難する先（市指定の避難所、親族、知人宅等）を決めている人」、「避難所運営マニュアル策定の地域数」、「防災メールの登録者数」、それから、33ページをお開き願います。33ページの第3節消防・救急の「救命講習の受講率」、「住宅用火災警報器の設置率」、それから、次のページ、34ページをお願いいたします。こちら第4節交通安全の「交通安全教室受講者人数」が、そして第8章にあります。市役所運営、48ページをお願いいたします。48ページの第1節行財政運営の「経常収支比率」、これがC評価ということでおくれが生じております。

なお、恐れ入りますが15ページ以降、今ごらんいただいております進行管理シートの下段に「実績と見通し」、「今後の取組の方向性」ということで、次期総合計画への展開も念頭に入れて整理をさせていただいております。

恐れ入りますが、進行管理シートの詳細の説明につきましては、後ほど御高覧を賜りたいと存じますので、よろしく願いをいたします。

説明は以上でございます。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

◎岡田善行委員長

ただいまの説明につきまして、御発言はありますか。

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

それでは、第2次計画の進行管理につきまして、もう少しお聞かせをいただけたらと存じます。

まずは、先ほど13ページのほうで、まとめというところで説明もいただきました。この中を見せていただきますと、数値的には合計でAが32に対してCが39と、結構目標達成が困難なのが多かったのかなと。その中でも、特に総務の分野においては、第1章、また第5章については、特にAが1、そしてBが4、Cが8ということで、なかなか目標まで行かなかったというところから、これをどのようにまず捉えているのかということ、そもそも目標設定が高かったのか、それとも目標とする項目がなかなか市民になじまなかったのか、その辺どのように考えているのかお聞かせいただけますでしょうか。

◎岡田善行委員長

危機管理課長。

●日置危機管理課長

委員仰せのとおり、非常に防災の関係につきましてはCというふうなものが多いでございます。私どものほうも高い目標値を掲げながら取り組んでまいりましたが、防災に関する意識を保つこと、これが非常に難しい状況ということを感じておるところでございます。

今後につきましては、講習、訓練、こういうふうなものを通じて、今1万2,000人の方が受けていただいておりますような状態でございますが、こちらのほうを高い意識を持ってい

ただけるような新しい取り組み、こちらのほうに向けて進んでまいりたいと考えております。また、防災メールにつきましても、登録していただきやすい、そういう方策を考えていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

◎岡田善行委員長
吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

数値を見るとなかなか厳しかったのかなと思いますし、これが誰のための何のための総合計画なんかというところ辺も、この4年間を通じて目指していこうという伊勢市のあり方として、やはりそれが本当にふさわしかったのかというふうなところ辺も改めて、この2次の最終評価ということで考えてもらえたらと思いますし、個別のことを一つ一つ話していますと時間がかかりますので、例えば先ほど防災メールの話をしていただきましたけれども、先日の台風第21号の折には、大変こういった情報のツールとして防災メール、またケーブルテレビ、ホームページ、自治会のコミュニティー放送、いろんなこういったものが大変必要なんだというふうなことを実感したところでもあります。

やはり、途中、途中で目標達成しそうでないというのであれば、もっといろんな工夫をして、防災メールについては、以前配った冊子にQRコードを載せて、ここから入ってくださいというふうなこともありましたけれども、例えば、もっと広報なんかで毎回表紙やら後ろのページにQRコードを載せるとか、例えば電話会社とか量販店のそういう家電メーカーのところで携帯電話をかえるとき、また新規登録するときにそれを勧めてもらうとか、もっといろんなやり方があったのではないかなというふうにも思います。

そして、今度また第1次から第2次、第3次ということで目標設定もいろいろするわけですが、先日行われました第3次の総合計画の審議会の傍聴も行っていただきました。最初みんなのまちの計画が第1次総合計画で、こちらは市民会議の皆さんが中心となって、いろんな、こんなのも必要なのかなというふうなところまで細かく目標設定をしていただき、そして、第2次については、それをある程度整理をしながら目標設定されたのかなというふうな感じで捉えておりました。

先日、第3次のほうを見せていただきましたら、かなり項目も少なく、さらに絞り込んだのかもしれないけれども、私を感じたところは、何か市役所が目標達成できるような目標設定になっているんじゃないかと、そんな気が若干いたしました。やはり、そこら辺は、誰のための目標なのかと、そういったところをしっかりと審議会の皆さんにも共有していただいて、目標設定の項目というものも市役所のほうでしっかりと立ててもらうことがまず第一なのかなというふう感じたんですけれども、その点いかがでしょうか。

◎岡田善行委員長
情報戦略局参事。

●辻情報戦略局参事

いろいろとありがとうございます。

審議会の中でも、先ほどおっしゃられましたように、数値の設定の仕方について、いろいろ御意見をいただいております。昨日も第8回目の審議会がございまして、これまでいただいた御意見を踏まえた形で整理をさせていただいて、全てが了解ではございませんけれども、おおむね了解をいただいたところでございます。

今おっしゃっていただいたような観点も御指摘もいただいておりますので、そういったことも踏まえて整理もさせていただきましたので、誰のための総合計画かということはしっかりと肝に銘じて取り組んでまいりたいと思います。

◎岡田善行委員長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

わかりました。

個別の話になって申しわけないところもありますけれども、昨日、産業建設委員会では出なかったんですけれども、例えば、39ページの景観計画のことであっても、市民が本当に望んでいるのかなというのを、最近の流れを見せていただいて本当に感じております。これは誰のための計画なんかな、誰が望んでいるのかなというふうなところ辺も、これを見ながらおおむね了解を得ているというふうな形にはなっておるんですけれども、そこら辺の進め方もこれからいろいろやっていただきたいと思えますし、第3次ではもうなくなってしまいう項目もあろうかと思えますので、当然そこら辺は、これまで達成できなかったものを、さらにこれまでの達成を目指していくのかどうか。やはり、そこら辺の取り組みというものが大事になってくるんじゃないかなと思うんですけれども、その点はいかがでしょうか。

◎岡田善行委員長

情報戦略局参事。

●辻情報戦略局参事

ありがとうございます。

今おっしゃられましたように、基本的にC評価というか、目標を達成して、それが実現できなかったものは当然課題として継続していくべきものだという事で、各所属のほうでもそれを整理して、第3次の総合計画のほうを策定していこうということで今作業をしておりますので、よろしく御理解いただきますようお願いいたします。

◎岡田善行委員長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

最後にさせていただきます。

この計画は、マストというか、本当なら目標達成しようということで取り組むわけです

けれども、やはり第2次から第3次、そういったところ辺の見直しの中で、本当にやらないかのかということも含まれてしっかりと取り組んでいただけたらと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

◎岡田善行委員長

ほかにございませぬか。

黒木委員。

○黒木騎代春委員

2点ほど聞かせていただきたいと思ひます。

全体的なことに關わることなぬですけれども、一つは、伊勢市の財政収支見通しというのが資料で8ページについてあります。進行状況についての御説明で、目的とか構成及び確認の考え方の中に記載されているように、策定時から3年が経過したことから、現況及び課題について、その変化を確認しますということに關係するんですが、平成26年度から28年度までは、例えば地方交付税の額、これは決算額ですが、29年度以降は、28年2月に公表した数値を用いているということで、これは既に発表した数字をそのまま置いただけですから、それはそれでどうこうないんですが、地方交付税について、例えばこの制度の国の考え方が最近、2015年の骨太の方針では、一般財源の総額については、平成30年度までは27年度の水準を下回らないということで、来年度までは下回らない、そういう計画で地方については見てくれると。しかし、31年度以降は厳しい議論が行われるというようなことで、国のほうでは議論があるわけです。

例えば、財政調整基金の積立金残高の数値だけを見て、地方自治体の財政にゆとりがあるんじゃないかというような、そんな議論も前も議論したことがあるんですが、これは根拠のない話やというふうには私と思ひていますが、そういう意味で、総合計画の審議会の議論の中でも、プライマリーバランスが31年度以降はプラスになるという根拠についての御質問もあったようなんですが、第3次計画開始直後の時期とも重なりますので、こういった動向も見据えておく必要があるというふうには思ひますけれども、そういったことの影響というのは、どんなふうに見えてくるのでしょうか。

◎岡田善行委員長

財政課長。

●大西財政課長

財政収支見通しにつきましては、確かにこちらに記載させていただいている数字につきましては、平成28年2月に御提示させていただいた内容を記載しております。現在、第3次の総合計画を策定しております。財政収支見通しにつきましても、30年度がちょうど中間年となってまいりますので、そちらの内容の更新を現在進めているところでして、第3次総合計画策定時には、そういった財政の収支の見通しというの、当然のことながら踏まえる必要があるかということもございしますので、総合計画を御提示させていただくタイミングに合わせまして、新しい財政収支見通しのほうを御提示させていただきたい。平

成28年度から32年度までの中間見直しを含めまして御提示させていただきたいと考えております。

その中で、今地方財政計画のお話を出していただきました。確かに平成30年度までは国の方針ということも明記されている状態です。31年度以降につきましては、2年先ということもありまして、国の動向ということも注視していく必要があるかとは思っております。ただ、財政収支見通しを算出する場合に、その率がどの程度であったりとか、地方交付税が恐らくこうなるであろうという、なかなか仮定というのが非常に難しいというふうに考えておりますので、それらの観点を入れられるかどうかにつきましては、少しちょっと難しいのかなというふうには感じております。以上でございます。

◎岡田善行委員長

黒木委員。

○黒木騎代春委員

わかりました。おっしゃるとおりだと思いますけれども、そういう意味では、国に対する働きかけという意味では、自治体の自主的な取り組みが、この計画を実行していく上でも必要になってくるんじゃないかなというふうに思います。

それと、もう一点、子供を産み育てやすい環境づくりのところ、人口減少を食い止める施策、なかなかこれといった決定打、どこでも通用するようなものというのは難しい中、御奮闘いただいているというふうには思うんですけれども、この間の自治体の実績の中で、4年連続の人口増とか出生数の回復などで地方都市の中でも目立つような、そういう自治体も都市の中でもあるんじゃないかなというふうに思います。例えばV字回復の明石市とか、そんなことで発信しておるような自治体も出てきておる状況の中で、子育てしやすいまちの一環として、経済的負担の軽減が税収増になっておると。福祉が単に福祉で消えていってしまうんじゃないしに、人口をふやしたり、あるいは税収をふやしたりするようなことになっているというようなアピールまでされておるように思います。

例えば、そこでは里親100%プロジェクトなど、余り予算をかけないで効果を上げるというような、そんなようなことも聞いたりするわけなんで、具体的にその中でいろいろ、伊勢市は伊勢市として頑張ってはもらっておると思うんですけれども、具体的に適用できるような事例もふえてきているというふうに思います。そういう意味での変化をどのように捉えていただいているのかという点ではどうでしょうか。

◎岡田善行委員長

情報戦略局参事。

●辻情報戦略局参事

いろいろ御紹介をいただきましてありがとうございました。

さまざまな取り組みをして、確かに合計特殊出生率が上がっている、沖縄とか、あちらのほうなんかは高く数字が上がっておるということであったり、あと隠岐島のほうですかね、海士町さんのほうもいろんな取り組みをされて、移住がふえたりというふうなことは

伺っておりますけれども、先ほど御紹介いただいたような事例までは、申しわけございません、詳細につかんでおりませんので、また今後いろいろとそういった情報を収集させていただきたいと思っております。

◎岡田善行委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、説明に対する質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、「第2次伊勢市総合計画の進捗管理について」を終わります。

総合計画推進事業に関する事項につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。

本件については、引き続き調査を継続いたします。

以上で、御審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時22分

上記署名する。

平成 年 月 日

委 員 長

委 員

委 員